

報告<第23回サイエンスフォーラム in 屋代>全校

5月15日(木)に全校生徒対象の講演会が第2体育館で開催されました。昨年の12月に米国海外研修に参加した生徒より、米国のヨセミテ国立公園、スタンフォード大学の特別連携講義、NASA、Intel等の研究施設での体験を英語報告した後に、名古屋大学大学院理学研究科長の篠原久典教授による「科学と英語～世界に羽ばたく斬れる英語を目指して～」というテーマでご講演していただきました。

《篠原先生による講演内容のまとめ》

①ナノテクノロジーについて

サイエンスチャンネルを視聴することを通して、10億分の1mを表すnanoの世界であるフラレンやカーボンナノチューブについて紹介していただきました。機会があれば、サイエンスチャンネルをじっくり見てください。

②国際化と英語

英語はグローバル言語であり、一步海外に出たら英語を話せないといけません。篠原先生の研究室では多くの留学生が学んでいるため、研究室では全て英語でやりとりをしているそうです。

③斬れる英語とは？

ネイティブと対等に議論できる口語英語力・英語のロジックでネイティブと対等に論述できる英語力を目指すために、「只管朗読」を教えて頂きました。米国人が日常的に使う語彙、表現形式や文法形式が網羅されている中学2・3年生レベルのまとまった文章を反復音読することが、斬れる英語を身につける有効な方法のようです。日々鍛錬・修行を怠らず頑張りましょう。ハングリー精神を大切に！

④科学と英語

サイエンス(自然科学)の研究結果の99%が英語で学会発表・論文発表されており、科学者にとって英語は必須です。また、英語は結論が最初にくるため、英語のロジックがサイエンスを研究するのに、合理的であり伝えやすく考えやすいようです。



《米国海外研修の報告の様子》



《篠原先生の講演の様子》

受賞<データビジネス創造コンテスト>3年理数科

第1回データビジネス創造コンテスト（主催：慶応義塾大学 SFC データビジネス創造・ラボ等）で課題研究の数学チームが最優秀賞を受賞しました。4/19（土）プレゼンテーション、4/23（水）表彰式、5/19（月）には県庁へ表敬訪問しました。

参加生徒 若林和哉、坂口美乃里、堀口恵莉菜、市ノ瀬弘祐

研究テーマ「花粉症患者のつぶやきを社会の意識決定に活かしたい」

（毎日数十億といわれる twitter でのつぶやきをリアルタイムで分析する NTT コムのソフト(Buzz Finder)を使って、新たなビジネスを創造しようとした。）

<生徒アンケートより>

- ・膨大なデータを扱うのは初めてで、使える情報を見出す難しさを知った。しかし、与えられた情報を最大限活かす能力はこれからの社会に必要な不可欠だと思った。
- ・分析したことにストーリー性を持たせることで、発表での印象は大きく変わること気付いた。



報告<日本地球惑星科学連合高校生セッション>発表者

4/29（火・祝）日本気象学会や日本宇宙生物科学会など 49 の学会が一同に集まり研究成果を交流しあう「日本地球惑星科学連合 2014 年大会」（パシフィコ横浜）の高校生セッションに本校から 2 グループが参加して発表してきました。NASA の英語による特別講演「Viewing the Earth's Climate from Space」があり、会場から出た唯一の質問が本校の生徒からでした。

「姨捨棚田の歴史調査と「田毎の月」の実現～十枚の大鏡による月光の一点収集～」

中村実和子、土屋恒平、坂口美乃里(以上 3-7)、中澤諒太(2-6)、竹重遥(2-7)

「Yosemite Valley の Merced River 河川中の金属イオン濃度の分析と比較 - Ver.3」

若林和哉、中曽根千尋、湯原萌(以上 3-7)

<生徒アンケートより>

- ・実験の改善方法などに限らず、私たちの研究が地球科学の中でどのような意見を持ったものなのかといった、広い視点からの意見を頂いた。
- ・地球に関する様々な発表を見て視野が広まった。全国の高校生の発表が見れて自分と同じ高校生のレベルの高さを知った。自分たちと同様に研究を行っている高校生の発表を通して、これからの自分たちの研究の糸口が見えた。



締切り迫る<サマーキャンプ>希望者

高校生のための先進的科学技术体験合宿プログラムの応募の締切りが迫っています。いずれもインターネットで検索するか、理科の研究室へ相談して下さい。

○サマーサイエンスキャンプ 締切り 6/13（金）

開催日等 7/22～8/23 の期間で 2泊3日～5泊6日の合宿 参加費 2000 円

合宿場所 宇宙航空研究開発機構、理化学研究所、産業技術総合研究所、東京大学等

○セキュリティ・キャンプ 締切り 6/16（月）

開催日等 8/12（火）～16（土）交通費、宿泊費、食費、参加費等すべて無料

合宿場所 クロス・ウェーブ幕張（千葉市）

締切り迫る(5/31)＜物理チャレンジ＞希望者

国際科学技術コンテストの物理チャレンジの申込の締切りが迫っています。中学生からの参加が可能で、これまで高校1年生あるいは中学生からも第2チャレンジ（全国大会）へ選抜されています。本校が予選の長野県会場になっています。

日 時 7月13日（日）13:30～15:00（90分間）
予選会場 長野県屋代高等学校（本校）物理教室
申込締切 郵送は5月25日（日）、ホームページからは5月31日（土）
費 用 参加費は無料。
問合せ先 要項、過去問、詳細については物理研究室へ

締切り迫る(5/31)＜日本生物学オリンピック＞希望者

国際科学技術コンテストの日本生物学オリンピックの申込の締切りが迫っています。中学生からの参加が可能ですが、現地への移動には保護者の送迎が必要になります。

日 時 7月20日（日）13:30～15:00（90分間）
予選会場 信州大学理学部（松本キャンパス）
申込締切 5月31日（土）当日消印有効
費 用 参加費は無料。往復交通費はSSH予算より補助されます。
問合せ先 要項、過去問、詳細については生物研究室へ

締切り迫る(6/9)＜化学グランプリ＞希望者

国際科学技術コンテストの化学グランプリの申込の締切りが迫っています。中学生からの参加が可能です。今回から会場に信州大学工学部が追加され受けやすくなりました。

日 時 7月21日（月・祝）13:00～16:00（解答時間は150分間）
予選会場 信州大学工学部（長野市）
申込締切 6月9日（月）必着、WEBは24:00
費 用 参加費は無料。交通費の補助はありません。
問合せ先 要項、過去問、詳細については化学研究室へ

連絡＜教育実習生と学習会＞希望者

上記の物理、生物、化学コンテストにおける勉強会を放課後、科学系クラブ員を中心に実施しています。教育実習中（～5/30 または 6/6）は実習生も協力してくれます。問題に関する質問やコンテストの詳細など気軽に各研究室へ相談に行ってください。

連絡＜理数科限定講座への普通科生の参加について＞普通科生

SSE（科学英語 6/25）やSSHⅡ（物理連携講座 7/中旬）など、これまで授業中に実施していた理数科限定の特別講座に、普通科からの参加が一部可能になります。条件はありますが、興味・関心のある生徒はこのようなチャンスを活かして下さい。

参加可能講座 SSH年間計画表の内、校内で実施しているもので☆印の講座
（随時更新されますので本校HPのSSH年間計画表で確認して下さい）

対象生徒 科学系クラブ（物理班、理化班、天文班）またはサイエンススタッフ
普通科生で学年は問いませんが概ね最大8名まで

参加方法 講座実施日の1週間前までに公欠願いを授業担当者へ提出する。
応募者多数の場合は、上級学年を優先します。

問合せ先 不明な点、詳しくは物理研究室へ